

# 日本毛織（株）印南工場 環境保全対策実施報告書

## 1. 環境保全対策実施状況（平成27年度）

### (1) 大気汚染防止対策

| 推進の内容   | 実施の成果  |
|---|--|
| <p>①ボイラ日常点検・定期点検・燃焼調整・排ガス分析を継続実施しています。燃料は都市ガスでありSOxの排出はなく、低NOxバーナーを採用しており燃焼状態は良好です。</p>    | <p>排ガス分析結果から判断して良好な運転ができました。NOx排出量は従来機と比較して約20%削減できており、バーナーの燃焼調整により約1%の省エネが図れています。</p>   |
| <p>★②省エネ推進によるCO2削減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コージェネレーションシステムの導入<br/>ガスエンジン発電機、815kW、総合効率75%</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーコンプレッサー75kWの台数制御</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・スチームトラップ更新</li> </ul>  | <p>平成27年度のエネルギー原単位は前年比103.1%(電気100.3%、ガス105.7%)<br/>CO2排出量原単位は101.1%と前年と比較して悪化しました。</p> <p>エネルギー悪化の原因としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 設備の老朽化及び不良箇所の修理の遅れによる非効率運転</li> <li>② 納期対応による休日・時間外出勤の増加</li> </ol> <p>平成28年度は、コージェネ稼働、アモルファス変圧器への更新、照明LED化、INV機導入等により省エネ及びCO2削減に努めます。</p> |
| <p>③毎月1回、各部門の課長、係長をメンバーとし、省エネ会議を開催しています。省エネ対策や啓蒙活動を推進しました。</p>  |  |

## (2) 水質汚濁防止対策

| 推進の内容  | 実施の成果   |
|--|---|
| ①排水処理装置の日常点検、定期点検及び測定機器の定期保守を実施しました。           | 排水処理装置の適正な運転及び定期保全の実施により規制値内管理を継続できています。排水ピット・埋設配管の定期点検を5月に実施しました。排水路に異常箇所はなく、地下浸透の防止に努めています。 |
| ②染色排水の地下浸透を予防するため、まずは排水ピットの点検、排水路の改修工事を実施しました。 |   |



## (3) 騒音、振動防止対策



| 推進の内容                            | 実施の成果                               |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| ①協定測定点以外に工場独自で測定点を設定し騒音測定を行いました。 | 騒音測定結果は規制値を大きく下回っており、良好な状態が維持できました。 |

## (4) 産業廃棄物対策

| 推進の内容   | 実施の成果  |
|---|--|
| ① 排水処理装置から発生する汚泥のセメント原料化は継続しています。また濁度計による薬注ポンプの制御により排水処理での薬品投入量を適正化し、排出汚泥を減量しました。 | 汚泥発生量を約20%削減できました。また廃棄物のリサイクル率は99%以上を維持できています。                   |
| ① 廃棄物の分別を徹底し、焼却・埋立処分を廃止、リサイクル化を推進中です  | 廃プラについては既に埋立処分は廃止していますが、分別廃棄の徹底により、PPバンド・ナイロン等を固形燃料化(RPF)を推進中です。 |



(5) 緑化対策

| 推進の内容  | 実施の成果  |
|--|--|
| <p>① 樹木・緑地の剪定・除草、害虫駆除および渇水期の散水を行いました。</p>   | <p>倉庫再編に伴い、建物の解体・建築を行っていますが、緑地面積を確保しています。また樹木の剪定、除草・散水により工場緑地の維持管理ができています。</p> |
| <p>② 来客用駐車場のグラスパーキング(芝生)の除草等維持を継続しました。</p>  |  |

(6) 地域連絡会

| 推進の内容  | 実施の成果                             |
|--|-----------------------------------|
| <p>① 平成27年8月と平成28年2月の2回、当工場周辺の町内会長様に参加いただき地域連絡会を行いました。</p>     | <p>工場の実態を理解していただき、情報交換ができました。</p> |
| <p>② 「トライやるウィーク」で中学生、「インターンシップ」で高校生、「教員の民間研修」で教職員を受け入れました。</p> | <p>地域社会への貢献活動ができました。</p>          |

(7) その他

| 推進の内容   | 実施の成果                                  |
|---|--|
| <p>① 環境マネジメントシステム (ISO14001) の外部審査に合格し、継続して運用しています。</p> | <p>環境保全活動を継続実施と従業員の環境への意識向上を図れました。</p> |

## 2. 協定値と実績値の比較

### (1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

| 項 目      |                      | 協 定 値 | 実 績 値 |
|----------|----------------------|-------|-------|
| 窒素酸化物排出量 | (Nm <sup>3</sup> /時) | 2.0   | 0.4   |
|          | (t/年)                | 11.6  | 2.2   |

### (2) 水質関係

#### ①汚濁負荷量

| 項 目                        |     | 協 定 値 | 実 績 値 |
|----------------------------|-----|-------|-------|
| 化学的酸素要求量<br>(COD) (kg/日)   | 通 常 | 283   | 35    |
|                            | 最 大 | 373   | 43    |
| 生物化学的酸素要求量<br>(BOD) (kg/日) | 通 常 | 452   | 10    |
|                            | 最 大 | 596   | 19    |
| 浮遊物質<br>(SS) (kg/日)        | 通 常 | 283   | 9     |
|                            | 最 大 | 373   | 29    |
| ノルマルヘキサン抽出物質含有量<br>(kg/日)  | 通 常 | 147   | 9     |
|                            | 最 大 | 194   | 40    |

## ② 許容限度

| 項                         | 目     | 協 定 値   | 実績値     |
|---------------------------|-------|---------|---------|
| 水素イオン濃度 (pH)              | 最小～最大 | 5.8～8.6 | 6.6～7.8 |
| COD (mg/L)                | 日間平均  | 25      | 10      |
|                           | 最 大   | 35      | 18      |
| BOD (mg/L)                | 日間平均  | 40      | 4       |
|                           | 最 大   | 55      | 10      |
| SS (mg/L)                 | 日間平均  | 25      | 3       |
|                           | 最 大   | 50      | 13      |
| ノルマルヘキサン抽出物質含有量<br>(mg/L) | 日間平均  | 13      | 3       |
|                           | 最 大   | 20      | 12      |
| 六価クロム (mg/L)              | 最 大   | 0.25    | <0.02   |

### 3. 環境保全活動

#### (1) 平成28年度基本方針

| 項目   | 内容  |
|------|---|
| 基本方針 | <p>当社は、『人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます』を経営理念としており、環境への配慮と高い企業倫理により社会から信頼される企業グループを指向します。</p>   |
| 組織体制 | <pre> graph TD     A[工場長] --- B[ISO事務局]     A --- C[環境管理責任者]     A --- D[地球環境工場委員会]     C --- E[ ]     C --- F[ ]     C --- G[ ]     C --- H[ ]     C --- I[ ]     D --- J[環境整備専門委員会]     </pre> <p>工場長</p> <p>ISO事務局</p> <p>環境管理責任者</p> <p>地球環境工場委員会</p> <p>環境整備専門委員会</p> <p>各 部 門</p> |

#### (2) 平成28年度環境保全活動計画

| 環境保全活動  | 目標  | 目標達成のための計画、方策   |
|---------|---|---|
| 自動車公害対策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・低公害車の採用</li> <li>・自動車排気ガスの抑制</li> </ul>     | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 有車更新の際は、低公害車を選択</li> <li>② 従業員、運送業者に対して、アイドリングストップのPRを継続</li> <li>③ 自動車通勤の距離制限</li> </ol>  |
| 化学物質対策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質漏洩の未然防止</li> <li>・化学物質使用量の削減</li> </ul> | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 化学物質の保管・在庫管理の適正化</li> <li>② 施設の維持管理</li> <li>③ 微量PCB含有機器の適正保管と保管・処分状況の報告</li> <li>④ 電気設備の微量PCB含有分析</li> <li>⑤ PRTR法に基づく化学物質の排出量、移動量の把握と報告</li> </ol> |

|                                 |  |   |
|---------------------------------|--|---|
| ★ エネルギー対策<br>(地球温暖化防止対策)        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー原単位をH27年度比5%削減</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>①ガススコージェネレーションの運転管理</li> <li>②高効率コンプレッサへの更新</li> <li>③アモルファス変圧器への更新</li> <li>④ポンプ・ファンのINV制御化</li> <li>⑤エアコン更新</li> <li>⑥スチームトラップ・保温材の点検整備</li> <li>⑦エア漏れ点検と迅速な修理対応</li> <li>⑧生産設備の適正運転</li> <li>⑨省エネ会議・パトロールの実施</li> </ul> |
| 廃棄物対策                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物排出量をH27年度比110%に抑制<br/>※生産量120%増</li> <li>・リサイクル率を99%維持</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①排水処理汚泥のセメント原料化を維持し排出汚泥を110%に抑制する。</li> <li>②廃棄物分別の徹底とリサイクルの高位化</li> <li>③事務作業のペーパーレス化推進</li> <li>④電子マニフェストの推進</li> </ul>  |
| 不法投棄防止対策                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄の撲滅</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①定期的に工場外周の巡回と清掃を行い投棄しにくい環境を維持</li> </ul>   |
| 緑化対策                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地、樹木の維持管理</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①樹木の剪定、除草、害虫駆除の実施</li> </ul>   |
| グリーン購入                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入適合品比率を90%以上にする</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>①事務用品、電気機器についてグリーン購入を推進</li> <li>②生紙の利用と裏面の使用</li> <li>② 能な限り適合品への切替を実施</li> </ul>   |
| ISO14001環境マネジメントシステム            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの継続運用</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①環境マネジメントシステムの外部審査を受け、継続運用します。</li> </ul>  |
| 環境教育                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員、協力会社への省エネ・廃棄物・その他環境改善教育の実施</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育訓練計画を立案・実行し、進捗管理を行います。</li> </ul>   |
| 地域社会への参画                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や行政が行う環境保全活動に可能な限り参加する</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域連絡会を毎年2回、開催します。</li> <li>②「トライやるウィーク」で中学生、「インターンシップ」で高校生、「教員研修」で教職員を受け入れます。</li> </ul>  |
| 環境コミュニケーション                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境情報の公開に努める</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>①ニッケグループ環境報告書の中で当工場の報告を行います。<br/>(詳細版は当社ホームページに掲載)</li> </ul>  |
| 周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>工場外に重大な影響を与える場合に限り加古川市・町内会に公表する</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>② 緊急時対応訓練の実施。</li> <li>②環境マニュアル・規定書にある緊急時連絡体制の従業員教育。</li> </ul>  |